

三聚淨戒の誓いを立てて生きる　善とは、悪とは

令和七年七月十七日　加茂法話会

一、十六条戒　日本曹洞宗で用いる独自の菩薩戒

三帰戒・三聚淨戒・十重禁戒を合計して十六条戒

二、三聚淨戒(さんじゅじょうかい)

三聚淨戒とは、摂律儀戒、摂善法戒、摂衆生戒の事。

摂律儀戒(しょうりつぎかい)　信仰の妨げとなる全ての悪いことは決していたしません。

摂善法戒(しょうぜんぼうかい)　自らの信仰をより深める様に務め全ての善い事をいたします。

摂衆生戒(しょうじゅじょうかい)世の中の全ての人々の為、社会の為に役立つことをいたします。

仏教徒としての人生の『誓願』の戒法。

三、七仏通戒偈

諸悪莫作(諸々の悪をなすなかれ)　↓　摂律儀戒

衆善奉行(多くの善を奉行せよ)　↓　摂善法戒

自浄其意(自らその心を浄めよ)

是諸仏教(これ諸仏の教えなり)

四、白樂天と鳥窠道林(ちようかどうり)と禪師の故事　『正法眼蔵』「諸悪莫作」の巻より

白樂天が鳥窠道林禪師に参じて仏法の大意を問うたところ、

鳥窠道林は、「諸悪莫作　衆善奉行」と答える。

白居易は「そんなことは三歳の童子でも言えましように」

道林は「たとい三歳の子供が言えても八十歳の老翁でも実践することはできない」

白居易は己の不明を恥じて、拝謝したという。

善悪の判断の難しさ

五、やなせたかし(本名・柳瀬 嵩、一九一九～二〇二二)　『アンパンマン』の原作者

『アンパンマン』生み出す基になった思い

①正義は逆転する

②飢えることの辛さ

「ある日を境に逆転してしまう正義は、本当の正義ではない」「もし、ひっくり返らない正義がこの世にあるとすれば、それは、おなががすいている人に食べ物に分けることではないだろうか」——終戦直後に悩みぬいて出した自分なりの答えを、嵩はパンを届けるおじさんに託したのだ。

梯(かけはし) 久美子著「やなせたかしの生涯」から

六、奈良康明老師『説戒』から、

七仏通戒偈の第三句目「自浄其意(自らその心を浄める)」

法に生かされ、法に従い、法に誠実に、そして自分に誠実に生きていくことが「自浄其意」。中略　そして、そこに慈悲がはたらいていなければならない。

摂衆生戒